



チャイルドが暮らす地域のご紹介

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が、子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えていくことを支援するプログラムです。チャイルドが暮らす地域と、現地でワールド・ビジョンが実施している開発プログラムについてご紹介します。

国情報

ケニア共和国



アフリカ大陸の東に位置し、南東部はインド洋に面しています。国土は日本の1.5倍ほどの広さで、大部分は標高1,100~1,800mの高地です。キクユ族、ルヒヤ族、カレンジン族など40以上の民族が暮らしています。旧イギリス植民地で、公用語はスワヒリ語と英語。宗教は、伝統宗教、キリスト教、イスラム教が主流です。



地域情報

イララマタク地域開発プログラム (KEN-182381)

支援期間：2006年～2021年*

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都のナイロビから南西へ250km、車で約4時間程の場所に位置する、ナロク県オスポ郡でプログラムを実施しています。マサイ語を話すマサイ族が住民の大多数を占め、一夫多妻制、女性器切除、早婚や、少年の通過儀礼「モラニズム」(村を守る戦士として数年間過ごす)など、伝統的な慣習が色濃く残っています。住民の多くが農業や牧畜で生計を立てており、定住せずに伝統的な遊牧生活を送っている住民も大勢います。基礎的な教育や医療サービスさえも行き届いていない地域です。



地域の課題



支援地域の小学校の様子。壁が崩れかけています



支援地域の住居の様子。壁は木の枝の隙間を牛糞で固めて作られています。遊牧のために移動する場合は、新しい土地でまた家を建てます



教育

日常生活を送る上で十分な読み書きの能力を持つ
11~13歳の子どもの割合 **5.2%**(2013年)



保健・衛生

医療施設、スタッフ、医薬品が不足



子どもの保護

子どもを大切にするという考え方が根付いておらず、**虐待や搾取の犠牲になる子どもが多い**



教育

子どもが教育を受けることの重要性を理解する大人が少なく、移動の多い遊牧生活をしている家庭も多いため、子どもが継続的に学校に通うのが困難です。特に10代になると、学校を中退してしまう子どもが増加します。地域の学校の校舎や備品も老朽化している上に不足しており、教育の質も低迷しています。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 教室の建設・改修や机・イスなどの備品の支援
- 住民を対象とした教育の重要性についての啓発活動
- 教材の配布や教師・教育委員会への研修



地域の子どもたちが継続的に質の高い教育を受けることができるよう支援します



保健・衛生

医療施設が少ないため、住民の多くは病気になっても遠くまで歩かなければならず、診療を受けるのが困難です。医療スタッフや医薬品も不足しています。また、健康管理や衛生に関する住民の知識が不足しており、予防できる病気で命を落とす子どもも少なくありません。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 診療所の建設、巡回診療の実施
- 村落保健ボランティアによる子どもたちの健康管理指導
- 住民を対象とした健康管理や衛生習慣に関する啓発活動



必要な医療サービスを受けられるよう支援します



子どもの安全

支援地域では、法定の年齢以前の早婚(主に女子)や女性器切除、モラニズムといった慣習が根強く残っており、子どもの権利を認めて教育を受けさせ、大切に育てるという考え方が根付いていません。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 子どもの権利と保護に関する啓発活動
 - 女性器切除やモラニズムに代わる新たな通過儀礼の普及支援
 - 子どもたちへの「ライフ・スキル・トレーニング*」
- *ライフ・スキル: 問題解決法、対人関係、意思決定、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術



子どもたちの権利と安全が守られる地域を目指します



支援はチャイルドの生活を変える力となります

リリアンさんは初等教育8年生の時に早婚を強要されましたが、郡とワールド・ビジョンの協力により早婚を免れ、希望通り高校に入学することができました。

リリアンさんのケースをきっかけに、村の人々の女子教育に対する認識が変わり、結婚を理由に退学する女子生徒は減少しています。リリアンさんはその後高校を卒業し、大学への入学願書を提出しました。「早婚を強制される恐れがなくなり、自信をもって自分の意見を述べることができるようになりました。高校での教育を受けることができ、感謝しています」と話すリリアンさん。

ワールド・ビジョンは、地域の子どもたちが教育を受け、夢を持って成長できるよう、支援活動を行っています。